

IAMAS 2021

情報科学芸術大学院大学 第19期生修了研究発表会・プロジェクト研究発表会



ご挨拶

このたび、IAMAS(イアマス)は「IAMAS 2021」と題して、第19期生による修了研究発表会および2020年度のプロジェクト研究発表会を開催します。IAMASでは、芸術、情報科学、デザインに留まらない様々な専門領域を持つ人が集まっています。このような環境の中で、各々の専門性を発揮しつつ、時には他の領域に跨りながら、自身の些細な違和感や関心に焦点を当てた制作や研究を行っています。その集大成として制作した修士研究作品の数々をここに発表します。

また、学生の修士研究作品発表と並んで、プロジェクト研究発表会を同時に開催します。プロジェクト研究では、教員と学生(主に修士1年)による、様々な領域を包摂した研究成果を複数展示します。「IAMAS 2021」は学生の修了研究発表に併せて、本学の研究活動を同時にご覧頂ける、IAMAS全体の展覧会でもあります。

このようにして生まれた多種多様な分野の研究成果、並びに本学の活動をより多くの方に知っていただきたく、何卒本展の告知、ならびにご来場・ご取材のご検討をお願いいたします。

開催概要

- [日 時] 2021年2月20日(土) - 2月23日(火)
10:00-18:00(初日のみ13:00-18:00) [入場無料]
- [会 場] ソフトピアジャパンセンタービル 岐阜県大垣市加賀野4丁目1番7号
- [公式情報] <https://www.iamas.ac.jp/exhibit21>
- [主 催] 情報科学芸術大学院大学 [IAMAS]
- [備 考] 上記内容は、新型コロナウイルス感染症に関連する今後の状況や、政府機関・自治体の指針に応じて変更される場合があります。展覧会開催の有無や、実施される予定の感染症対策事項についての最新の情報は、下記ページに記載されますのでご確認ください。
<https://www.iamas.ac.jp/exhibit21/covid-19>

コンセプト

情報科学芸術大学院大学 (IAMAS) の 2020 年度研究発表会、IAMAS 2021。

新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延によって社会全体が大きく変化した本年度においても、学生ひとりひとりが「この不確かな社会の中で、ものを作るとは何か、表現するとは何か」を考え、模索し、挑戦した末に、それぞれの答えを導き出しました。

展覧会場には、そのような IAMAS 学生の「模索と挑戦の結果」が並びます。

一方で、Web サイト上には、それらの研究の「過程や魅力」を広くお伝えするための豊富なオンラインコンテンツが展開されます。

オンラインで、出会う、考える。

オンサイトで、感じる、確かめる。

IAMAS 2021 を、ぜひお楽しみください。

IAMASとは

IAMAS (情報科学芸術大学院大学) は、岐阜県の情報産業拠点ソフトピアジャパンプロジェクトの一環として、1996 年に岐阜県立国際情報科学芸術アカデミーとして開学し、2001 年に修士課程のみの大学院大学として設立された学校です。充実した講師陣による少数定員の大学院大学として海外にも広く知られ、英文名称 Institute of Advanced Media Arts and Sciences から IAMAS (イアマス) と呼ばれています。芸術と科学の融合を建学の理念に掲げてスタートした IAMAS は、最新の科学技術や文化を吸収しながら、新しいものづくりやデザイン、先端的な芸術表現などを社会に還元する高度な表現者の育成を目指しています。IAMAS の教育の先端性は、工学、デザイン、芸術、人文学など、様々な異なる分野の学生たちによるユニークな研究を生み出します。専門性を習得し、様々な知を統合し、それを新たな領域まで拡張することによって、修了後は表現者として社会における新しい領域で活動し、それを展開する能力を身につけます。

アクセス



広報に関するお問合せ

取材にお越しいただく際は、件名に「IAMAS 2021 取材申込」とご記入の上、事前に下記メールアドレスまでご連絡をお願いします。

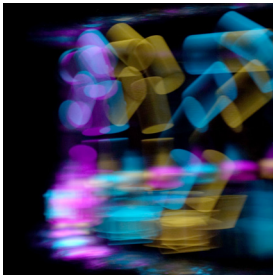
IAMAS事務局 MAIL: event@ml.iamas.ac.jp TEL: 0584-75-6600 FAX: 0584-75-6637

第19期修了研究発表者

厚木麻耶 / 大坂友美 / 大谷芳之 / 木村佳
 工藤恵美 / 柴田英徳 / 鈴木健太 / 武部 瑠人 / 遠山昌宏
 藤本遼太郎 / 星安澄 / 三木悠尚 / 蓑毛雄吾 / 守下 誠

作品介绍

※IAMAS 2021で発表される作品の一部になります



Schnellraumseher Chroma 鈴木健太

回転する物体群に局部的に光を照射することにより、実体を持つアニメーションを再生するメディア装置。異なるシーケンスを持つ複数の物体群を、照射する光を個別に制御することにより、異なるアニメーションを同一空間上に重畳する。この装置の発明によって、単純なループではない、3次元空間全体を使った表現が可能になった。2次元平面とは異なる、実空間上で展開する実物体を用いたアニメーションの可能性を提示する。



ARama! 守下誠

身の回りの人や物を素材として取り込み、目の前の空間に配置して自由に遊べるARカメラアプリケーション。友達のからだをコピペして増やしたり、大きくして宙に浮かせたりすることができる。アプリは一般向けにリリースされており、お手持ちのiOS端末上で動作する。作成した不思議なARシーンは動画として保存・共有することが可能。



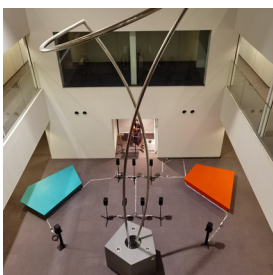
time in space, space in time 蓑毛雄吾

本作品は、実世界上で変形するワイヤーフレームモデルを組み上げるためのコンポーネント群(エッジ、ジョイント)である。自動で伸縮するエッジがモデルの形状をリアルタイムで変化させると同時に、体験者に時間と空間を同時に意識しながら立体構造を作るという新しい体験をもたらす。複数のエッジの伸縮の具合によって、体験者が想像していなかったような変形が生み出される可能性がある。



OFAD Media Project 三木悠尚

OFADとは「Observable from All Directions(全方向から観察可能)」の略称である。このプロジェクトでは「全周観察型立体ディスプレイ」のオープンソース化と参加者を巻き込んだコンテンツ制作や開発を通じて、このメディア装置を使った、表現やサービスについての議論や実践をするコミュニティの形成を試みる。



創造的解釈 木村佳

「創造的解釈 -Creative Interpretation」は、既存の曲に対して飛躍した解釈から制作して演奏をする手法である。修士作品として制作した「パフォーマンス Jacob TVのTicking Time」、《サイバーバード協奏曲》、《Electric Counterpoint》のダイジェスト及び各手法についての展示である。

プロジェクト研究発表

プロジェクトは修士研究を行う枠組みとしての役割を果たす重要な科目です。

メディア表現の社会的な意味をはかり、社会へ向けた成果の発信や外部との連携を強く意識し、領域横断的に運営されます。協働活動によって複数の領域のノウハウ、経験を効果的に統合し、より高度な研究成果、技術開発を目指すところにあります。また、広い視野と企画力、組織力、加えてアイデアを実現にまで導くマネジメント能力などを身につけることを目指します。「IAMAS 2021」では修士研究発表に加えて、これらプロジェクト研究の成果を展示します。

出展プロジェクト

Action Design Research Project / Archival Archotyping
Community Resilience Research / Life Ethnography Project / 体験拡張環境プロジェクト
タイムベースメディア・プロジェクト / 福祉の技術プロジェクト

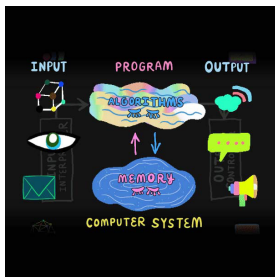
プロジェクト研究発表紹介

※IAMAS 2021で展示されるものの一部となります



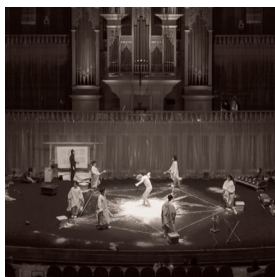
協働的デザイン環境のプロトタイピング Action Design Research Project

新たな研究手法として「アクション・デザイン・リサーチ」の確立を目指す。リサーチから仮説を立て、コラボレーターとの対話的なプロトタイピングによって検証する一連の流れを通して、デザインプロセスの捉えなおしと「協働的デザイン環境」の構築を実践している。今年度は、ポストコロナ時代のワークスペースの検討を経て、可変的な空間構成システム「Kiosk」を題材に、藤工藝株式会社、富田太基との協働の成果を発表する。



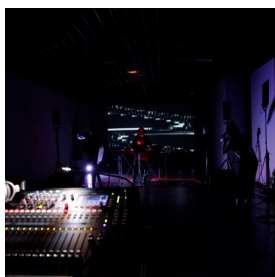
Archival Archotyping プロジェクト展 Archival Archotyping

本プロジェクトでは、現況を禍ではなく機会と捉え、既成概念の再定義を試みた。2020年7月のオンラインWS「Redefining Interactivity」と同年12月に開催した展覧会「Archival Archotyping Exhibition 2020」では人間の創造力とメディア環境の関係を論点に、クリティカルな取り組みを展開した。本展では、更なる議論を加え、それらの実践を再構成し展示する。



Time-Based Media Project 2021 タイムベースメディア・プロジェクト

2020年9月19日に開催したライブ配信作品「三輪眞弘祭- 清められた夜 -」は、タイムベースメディア・プロジェクトの2020年度の成果発表だった。ガムランによる三輪眞弘の新作『鶏たちのための五芒星』を中心に、松井茂が詩で参加し、前田真二郎が映像配信を担当した。



体験拡張環境プロジェクト 研究発表 体験拡張環境プロジェクト

本プロジェクトに所属する修士1年の研究成果として、印刷・流通に着目したメディア表現活動の紹介と、変性意識状態への導入を目的としたVR映像作品の体験展示を行う。さらに音楽体験を拡張するプラットフォームであるNxPC.Labの活動アーカイブと、共同研究のMR作品も展示する。